



# 災害の防止と消防活動の安全を誓う

## 令和元年度殉職消防職・団員慰霊祭

令和元年度第九二回(殉職消防職・団員慰霊祭が、九月三日(火)秋田市千秋公園本丸の「殉職消防組員招魂碑」前において、秋田県消防協会が祭主となり執り行われました。

慰霊祭には、ご遺族二二名のほか来賓、消防協会役員など四三名が参列しました。



題 字  
初代会長 松野 盛 吉  
定 価 1部 48円  
(購読料は年会費に含む)

発行人  
〒010-0951  
秋田市山王四丁目1番2号  
秋田地方総合庁舎内  
秋田県消防協会  
会長 高橋 正 尚  
電話 018-867-7320  
FAX 018-863-5910  
<http://www.shoubou-akita.or.jp>  
E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷  
〒010-0951  
秋田市山王7丁目5-29  
株式会社 松原印刷社  
電話 018-862-8760  
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>

令和元年度全国統一防火標語  
ひとつずつ  
いいね!で確認  
火の用心

神事の後、中田潤秋田県消防協会長が「本年一月、能代市で発生した住宅火災の消火活動中に殉職された、能代山本広域市町村圏組合消防本部消防司令藤田大志様、同消防司令補佐藤翔様が新たに合祀されることになりました。ここに合祀されている四七柱の御霊が不屈の消防魂をもって、最後まで職責を全うされたその崇高な精神は、県内消防人の鑑であり、皆が等しく賛辞するところであります。我々消防人は、御霊のご遺訓を胸に、一致団結して地域住民の安全・安心のため最善を尽くすことを誓う」と祭主祭文を奏上しました。

堀井啓一秋田県副知事が来賓を代表して「殉職者の皆様は、県民の生命・財産



を守るという崇高な使命の下、消防防災活動や救助活動に当たられ、尊くもその職に殉じられました。私たちは、皆様の御意志に因應するため、県民が安全、安心に暮らせる社会の構築のために、全力で取り組むことを誓う」と慰霊のこゝとばを述べました。

日本消防協会長のメッセージ紹介に続き、玉串奉奠が行われ、中田会長、新合祀のご遺族である藤田修志様、藤田敦子様(能代市)、佐藤渉様、佐藤幸子様(能代市)、ご遺族を代表して工藤昭子様(鹿角市)、来賓の方々が御霊の冥福を祈りました。

終了後「イヤタカ」において、殉職された藤田大志様、佐藤翔様のご功績を讃える特別功労章授与式が行われました。



秋田市千秋公園本丸に建立されている「殉職消防組員招魂碑」の清掃は、毎年、秋田県消防学校初任教育課程の情操教育の一環として行われています。

今年も、九月三日(火)の慰霊祭に先立ち、八月二九日(木)に五二名の入校生によって行われました。

清掃は、碑内の玉石を移動させて枯れ葉やゴミを除去したり、碑周囲の雑草などを取り除いたほか、碑に付着したコケなどの汚れを水をかけて洗い流しました。清掃後、参加者全員が「招魂碑」に向かい黙とうを捧げました。

入校生の皆さんありがとうございました。

第七三期初任教育入校生  
殉職消防組員招魂碑を清掃  
秋田県消防学校

# 第二回理事会

## 秋田県消防協会

一般財団法人秋田県消防協会第二回理事会は、九月三日(火)、令和元年度殉職消防職・団員慰霊祭終了後、秋田市中通の「イヤタカ」で開催されました。主な協議事項、報告事項は次のとおりです。

なお、中田潤会長の辞任に伴い、後任の会長には副会長高橋正尚氏が選任されました。新会長の任期は、九月一五日から令和二年度定時評議員会最終時までとなります。

### 【協議事項】

#### ①日本消防協会定例表彰の上申

表彰旗、竿頭綬などの表彰(功績章及び精績章の女性枠各一名を含む)は、各支部内申のとおりに、特別表彰まといは、小坂町消防団を上申することとしました。

なお、優良婦人消防隊(消防隊



員)については、支部からの内申はありませんでした。

#### ②秋田県消防協会定例表彰

勲績章と功労章は、各支部から上申されたとおり授与することが承認されました。

- ・ 勲績章 七〇一名
- ・ 功労章 三六名
- ・ 消防団員家族表彰 五家族(一五名)

#### ③収支の見直しについて(中間報告)

協会の財務健全化を目的とした収支見直しについては、見直しによる影響等を見極めながら、引き続き検討することとしました。

### 【報告事項】

#### ①令和元年度消防車両の交付要望

四消防団から要望があり、過去一〇年間に交付を受けた団体を除き、さらに、同年度に同車種は申請できないことなどを考慮した結果、二団体を要望することとしました。

#### ②令和元年度秋田県女性消防団

##### ネットワーキング会議

開催準備委員会にて検討した結果、今年度は、十一月二二日(金)「イヤタカ」で開催することとしました。

女性消防団員リーダー研修への参加報告、応急手当普及員の活動事例発表などを行います。

#### ③AKT開局五〇周年記念イベント

一〇月一二日(土)・一三日(日)、秋田県立体育館を主会場として開催される同イベントに、若手消防団員活性化推進委員会のメンバーがブースを設置し、消防団のPRや加入促進を行います。

#### ④全県消防団長研修会

一二月六日(金)に開催します。研修内容等については決まり次第、各消防団に連絡します。

#### ⑤消防団員研修

##### ■女性消防団員教育

一〇月一九日(土)～二〇日(日)

場所・秋田県消防学校

##### ■消防団員指導員研修

一〇月一六日(土)～一七日(日)

場所・秋田県消防学校

##### ■消防団員幹部教育指揮幹部科分団指揮課程

令和二年二月二九日(土)～

三月一日(日)

場所・秋田県消防学校

##### ■消防団員基礎教育

令和二年三月七日(土)～

八日(日)

場所・秋田県消防学校

##### ■消防団員幹部教育指揮幹部科現場指揮課程

令和二年三月一四日(土)～

一五日(日)

場所・秋田県消防学校

#### ⑥第二四回全国女性消防操法大会

一二月一三日(水)、横浜赤レンガ倉庫イベント広場で行い、本県から秋田市女性消防隊が出場します。

### 新消防団長紹介



能代市消防団

わたなべ まさと  
渡邊 正人

平成二五年五月一日 副団長  
令和 元年九月一日 団長

### 全国消防殉職者慰霊祭 (公財)日本消防協会

第三八回全国消防殉職者慰霊祭は、九月一二日(木)、日本消防会館ニッショーホール(東京都港区虎ノ門)で行われ、秋本日本消防協会長の式辞、安倍内閣総理大臣、高市総務大臣に続き、ご遺族を代表して本県の藤田敦子様を追悼のことばを述べました。

全国の殉職者数は、本年一月能代市で殉職されたお二人を含む五柱が新たに合祀され、五、七六二柱となりました。



ご遺族と伊藤消防長

殉職者氏名		遺族氏名	
藤田 大志	藤田 敦子	藤田 敦子	藤田 敦子
佐藤 翔	藤田 修志	佐藤 幸子	佐藤 幸子

■本県から出席したご遺族



御霊の奉納

### 次世代型消防研修会

#### を実施しました

災害現場で活動する者の安全確保について認識を深め、今後の消防活動の活性化に資するため、標記研修会を実施しました。

西木総合健康増進センター(仙北市)の会場には、県内外から約八〇名が集まりました。

(一社)日本ドローン協会東北支部によるドローンを活用した放水実験の見学や、「からくりノズル」による消火法を体験しました。



### 秋田県消防学校

#### 初任教育第七三期修了式

## 五二名修了第一線での活躍を期待

秋田県消防学校第七三期初任教育の修了式が九月二十五日(水)、同校の屋内訓練場で、修了生の家族や来賓約二〇〇名が出席して行われました。五二名の修了生は、六ヶ月間の厳しい訓練を乗り越え、明日から、それぞれの所属消防本部に着任し、消防士として活動することになります。

修了式は、小松学校長が修了生一人ひとりに修了証書と成績優秀者に表彰状を授与した後、秋田県副知事あいさつ、来賓祝辞(伊藤秋田県消防協会会長・高橋秋田県消防協会会長)と続き、修了生が答辞を述べ、最後に校歌を斉唱して終えました。

#### 表彰状授与

##### ■優 秀 賞 (五名)

- 大館市消防本部 畠山 幹大
- 由利本荘市消防本部 工藤虎太郎
- 横手市消防本部 安藤 壘
- 能代山本広域市町村圏組合消防本部 児玉 駿介
- 大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 佐々木 嶺

##### ■功 勞 賞 (五名)

- 秋田市消防本部 畑山龍太郎
- 由利本荘市消防本部 木内 大智
- 能代山本広域市町村圏組合消防本部 小川宗太郎
- 男鹿地区消防一部事務組合消防本部 北條 大紀
- 大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 佐々木 蔵



学校長式辞 (要約)



秋田県消防学校  
学校長  
小松 弘樹

消防職員として人生を歩み始めるに当たり、私から二つお願いいたします。

一つ目は「地味な下積み仕事を厭わないこと」です。二四時間体制で災害に備える消防組織では、目立たない下準備や備えが多くあり、それが組織を支えています。組織の一員として、こうした業務に真摯に取り組んでください。

二つ目は「苦しいときは音を上げる」ことです。これから、想像を超えた厳しい現場に直面し、心身に大きな負荷がかかることも多いはずですが、そうしたとき一人で耐えるのではなく、仲間や上司に遠慮せず音を上げて、心の内を解放し、自分をいたわってください。

各消防本部はもちろん、地域の住民も、皆さんの若い力に大いに期待しています。初心を忘れず、自分を信じて、職責を果たしてください。

皆さんの半年間の努力に、心より敬意を表します。健康や事故に注意され、実りある消防人生を歩んでください。皆さんの今後の活躍を心から祈念申し上げます。

修了生答辞 (要約)



秋田市消防本部  
消防士  
畑山 龍太郎

春、夏、秋と季節も移り変わり、いよいよこの消防学校を巣立ち、現場で活躍する 때가 きました。

近年、地震や異常気象による大雨、土砂災害など各種災害による悲惨なニュースは後を絶ちません。こうした中で、私たちは地域住民の安心安全を守り、困っている人を助けたいという初心と使命感を忘れず、消防業務に尽力して参ります。

この半年間、この消防学校で培ったことを胸に、各地域そして秋田県消防の更なる発展に資することを誓い、答辞といたします。



73期 初任教 半年間を振り返って  
秋田県消防学校

秋田市消防本部 畑山 龍太郎

四月に入校してから早く感じる半年間であった。それほど、充実した初任教育であったと感じる。総代としてうまくできていたのだろうかと思う。しかし、七十三期の総代を務めることができ、これからもこの半年間の様々なことを活かし、消防吏員として向上していきたい。

秋田市消防本部 伊藤 慶斗

半年前は高校を卒業したばかりで何もできなかった。しかし、半年間の消防学校での生活で、消防士としての知識や技術の他にも社会人としての成長できた気がする。家でも、身の回りのことは極力自分でやるようになった。半年間で、大きく成長できたと思う。これからも、ここで身に付けた習慣を続けていきたい。

秋田市消防本部 田中 大夢

六ヶ月という長いようで短い期間は、毎日が濃い日々でした。自分が一人前の消防士になれるか不安と焦りも大きく、辛いことも多かったですが、最高の仲間達が心の支えとなり乗り越えられ、得るものが大きい期間だったと思います。

大館市消防本部 成田 敦也

入校の頃と比べると、今では知識と技術が身に付き、自信を持って行動できるようになった。これからは、実際の現場で活動することになり、不安は大きいがそのために半年間、仲間と厳しい訓練を乗り越えてきた。持てる力を出し尽くし、一人前の消防吏員になりたい。

大館市消防本部 菅原 由菜

この半年間はとても充実したものだった。座学、訓練に最後まで一杯取り組むことができた。何より、ここまで来られたのは同期のお陰だ。仲間にはとても感謝している。

由利本荘市消防本部 石川 悠汰

この半年間は、長いようで過ぎてしまふと、あつという間と感じてしまふ期間だった。とても充実した時間になったと思う。これからの人生はもつと長いので、もつと学習していきたい。

由利本荘市消防本部 工藤虎太郎

初任教育半年間を振り返ると、やはり訓練の時間が印象深い。多くのミスから多くの知識や技術を得たり、教官の指導からコツを掴んだり、どんなことも自分の成長につながられた。この初心を忘れず、立派な消防人を目指して頑張りたい。

にかほ市消防本部 池田 享平

この半年間では、知識・技術・体力の向上を図ることができ、さらに

自分の意見を相手に伝える能力も伸ばすことができたと思います。他者と活動する中で自分にとって、とても勉強になった半年間でした。初任教育で得たものを現場でも活かしていきたいです。

横手市消防本部 伊藤 正虎

長いと思っていた六ヶ月が、過ぎてしまえば一瞬で、さみしい気持ちでいっぱいだ。日々の訓練や行事で辛いこともあったが、楽しいこともあり、仲間達と充実した六ヶ月を過ごすことができた。ここで得たものを意味のあるものにしていきたい。また、出会った仲間達とは一生の仲間となるので、困った時お互いに助け合い、地域に貢献していきたい。

五城目町消防本部 嶋崎 滯

この半年間で、日々切磋琢磨してきたことで、最高の仲間に出会えることができました。五十二人で歩んできた半年間の内容はとても濃く、大切な思い出となりました。これからも、この五十二人の関係を大切に頑張っていきたいです。

鹿角広域消防本部 成田 諒哉

半年間を振り返り、一番に思うことは、時間の流れが早くあつという間に半年が過ぎたことだ。一番辛かったのは、訓練を始める前の体力錬成での坂ダッシュだ。今までの人生で、こんなに坂を走ったことがなかったが、いい経験ができた。所属に戻ってから、体を鍛えていきたい。

鹿角広域消防本部 田中 健斗

入校当初は、他の所属の仲間とあまり話すことができず、不安だった

のが懐かしい。今では、色々なことを教えてくれる先輩と共に錬成した仲間達、愛のある檄を飛ばしてくれた教官達は、自分を成長させてくれた、かけがいのない存在である。

能代山本広域消防本部 小林 敬介

この半年間の初任教育では、消防吏員としての基礎知識を一から教わった。今回学んだことだけでは、業務を十分こなすことはできないと思う。法は変わっていくし、時代によつて考えも変わる。所属に戻つてからも、日々勉強、訓練を続けて市民を守る消防士になっていく。

男鹿地区消防本部 北條 大紀

この半年間、数え切れないほど多くのことを学んだ。消防士としての知識、技術はもちろん、人間として成長する良い経験ができた。団体生活では、相手を思いやり、自分のことは自分でやる大切さを改めて見直すことができた。日々の訓練では、皆が一つになり乗り越えてきた壁も多かった。この先、所属に戻つてもお互い切磋琢磨し合つて、市民のために体を張っていきたい。

男鹿地区消防本部 進藤 奎亜

入校した頃は多くの不安もありましたが、それらを乗り越えていくうちに、同期や自身の成長を実感していくことができました。半年間という短い期間でしたが、自分にとって濃密で、たくさん学ばせてくれたことができた半年間でした。

大曲仙北広域消防本部 草薙 晃平

不安を抱えて入校した消防学校であったが、厳しさを痛感する反面、楽しいこともあった学校生活であった。仲間と協力して訓練を重ねることと日々上達できました。消防学校で学んだ技術にさらに磨きをかけ、日々向上心を持って業務に励みたいと思います。

大曲仙北広域消防本部 佐藤 慶太

この半年間を振り返ると、一生の思い出になったと思います。毎日が辛いことばかりでしたが、周りの人の支えがあつたからこそ乗り越えられました。これからは、その人たちに恩を返せるよう、立派な消防士になり、地元に貢献できるように努力していきたいと思います。

大曲仙北広域消防本部 細井 健太

最初に入寮したときは、不安なところがたくさんありました。しかし、みんなが、とてもいい人ばかりなので、自分はとても運がいいと思えます。半年間一緒に過ごしたことを忘れず、これから頑張っていきたいと思います。

湯沢雄勝広域消防本部 摂津 湧慈

この半年間は、長いようであつという間に過ぎてしまいました。七十三期五十二名の仲間と共に、厳しい訓練を乗り越え、多くの貴重な体験をすることができました。この経験を忘れず、これからの消防人生に活かしていきたいと思います。

### 第15回 消防団員 意見発表会(三)



川村 忠寛

・八峰町消防団 団員  
・勤続二年 公務員

役場勤務の傍ら、消防団員の重性を痛感し、率先して入団。所属する本部分団は、ラッパ隊として町の操法大会や出初式等で活躍しています。

#### 「火をつける？消防団員」

消防団員の仕事という「火をつけること」というイメージがあると思います。しかし、私の消防団員としての大きな仕事は「火をつけること」です。皆さん、どういうことだと思いますか。

その説明の前に、まず、私のことをお話しします。

私は、平成二三年、十年ほど離れていた八峰町にUターンして役場職員となりました。役場の仕事で防災担当をしていたこともあり、消防団と関わる機会は多かったのですが、入団したのは、平成一九年五月です。

八峰町では、ラッパ隊を本部分団として置いていて、楽器を演奏した

このない私ですが、ラッパ隊に入らせてもらいました。ラッパ隊で主に使うのはビュールという単管ラッパで、音程を調節するバルブなどはなく、唇の形と吹く強さで音を変えます。そのため、楽器を演奏したことのない私にとつて、音を出せるようになるまでが一苦労でした。

今もあまり上手いとは言えないので、折に触れて自宅で練習していますが、七ヶ月の娘が楽しそうに聞いているのが励みになっています。

このラッパ隊、消防関係の行事にはつきものですが、どういう経緯で設置されているか疑問に思い、歴史を調べてみることにしました。

単管ラッパは、古くは軍隊の伝令を伝えるために使われていたそうです。ラッパは、遠くまで響き、聞き取りやすいため、太鼓とともに軍隊で用いられていたようです。

消防のラッパでも「放水はじめ」や「放水やめ」などの曲があり、伝令として使われていたそうです。余談ですが、某ラッパのマークの胃腸薬のCM曲は、陸上自衛隊の「食事」という曲なのだそうです。また「突撃ラッパ」は耳にしたことがあ

る方が多いのではないのでしょうか。現代では通信手段が発達し、ラッパで伝令を伝える必要もなくなつたため、式典などの儀礼的な演奏に使われることとなつたようです。

しかし、大規模な災害の発生で停電が続く、電気を使った通信手段が使えない場合を想定するとどうでしょうか。その場合、ラッパは有効な通信手段になるかもしれません。

冒頭で話した「火をつける」とは、放水をすることではなく、消防団員たちの心、魂に火をつけるということでした。しっかりとした演奏をすることで団員を鼓舞し、消防活動を盛り上げるといふことです。

私たちは消防操法を行うことはできません。しかし、地域の人たちの大切な命や財産を守るという気持ちを音に乗せて伝え、魂に火をつけることはできると思います。

ラッパ隊は消防魂に火をつけることが仕事です。これからも、皆の消防魂に火をつけられるよう研鑽を積み、頑張っていきたいと思えます。



石井 巧

・五城目町消防団  
分団長  
・勤続二十九年  
・会社員

小型ポンプ操法の選手として、支部大会、県大会で輝かしい成績を誇る。現在は、本部付分団長として、団員指導に取り組んでいる。

### 「私の消防人生」

今から二九年前のある日曜日の朝

のことです。「おお、居だがあ」と大きな声。地元消防団でした。「消防さ入れ、いいべ」悩んだ私は、了承の返事をしていないのに、「ああ、いがつた。へば後でな」と言つて帰っていました。強引で強制的な勧誘でした。これが私の団員としてのスタートでした。

当時私は、消防団の活動内容を理解していませんでした。入団して間もなく、「お前今年選手な」と言われ、「え、なんの選手」私は、操法大会があるのも知りませんでした。先輩に言われるままでした。気を付け、休め、敬礼から始まり、日常生活ではあり得ない動きをさせられ四苦八苦でした。

さらに規律訓練も行われるため、右向け、左向け、回れ右、あつちに行つたと思えば、今度はこつち、頭の中がパニックでついていくのが一杯でした。

初めての大会は、規律訓練では入賞出来ませんでした。操法で三位に入賞することが出来ました。

しかし、団員の高齢化も進み、年々成績も下降線をたどるばかりでした。

なんとか活気のある分団にした、そのためにも操法で勝つしかないと思つていましたが、なかなか進展しませんでした。

私が三十代になると、若者が一人

また一人と入団してきたものの、一人また一人と退団していったのです。

しかし、四十代になる頃、チャンス到来。若者四名同時入団。しかも、操法をやってみたいと気持ちの入った若者達でした。

思いは膨らみました。勝つための操法にスイッチオン。

私は指揮者として練習を始めました。最初は夜、公民館で窓のカーテンを開け、それを大きな鏡として、自分たちの姿勢をチェックし、基本姿勢を作り上げていきました。

また、練習場所を探すのも苦労しました。以前までは、簡易的な場所での練習していましたが、本格的に練習をするとなると、なかなか見つかりませんでした。

結果、砂地を走つたと思えばアスファルト。余裕ホースは田んぼの中といったコースでした。それでもなんとか形になっていきました。

しかし、悩みの種はもう一つ。町では、県大会優勝分団がいたのです。

ハードルが高いけれど、なんとか勝ちたい思いで必死でした。

そうして迎えた大会は、残念ながら勝てませんでした。手応えは感じられ、団員達は益々勢いづきました。

そして、翌年に優勝することが出来、支部大会へ。さらに、翌年には

県大会に出場することが出来、最終的に、県大会準優勝を収めることが出来ました。

同時に、町で行われる規律訓練においても、連続優勝していきましました。

その後、選手としては引退しましたが、後輩たちもしつかり後を継いでくれて、町の大会では、操法九連覇まで記録を伸ばしてくれました。

今まで、辛く面倒くさいと思うことも沢山ありました。しかし、振り返ると、これまでが充実した時間となつて、団員がイキイキと活動しているのが強く感じられました。

私は、操法を通して、積極的に消防活動が出来る団員を育て、そうした人たちが地域のリーダーとなり、高齢社会の中、頼れる消防団となつて、地域防災力向上につながっていくのではないかと思います。

そうした人材育成を、今後頑張っていきたいと思ひます。



山内 満

・秋田市消防団  
班長  
・勤続九年  
・自営業

学生時代はサッカーで心身を鍛え、竿燈の指し手としても活躍。昨年度、日本消防協会主催の幹部候補中央特別研修に参加、消防団の未来を憂う中堅団員です。

### 「サラリーマン化が進む中での効果的な活動方策について」

一月三十日から三日間、日本消防会館で開催された「消防団幹部候補中央特別研修」に参加しました。

全国から百四十一名、本県から二名が集う大きな研修で、秋本会長の講話をはじめ、都市防災、危機管理、防災対策などの講義、また、昨年七月に発生した岐阜県関市の豪雨災害の活動事例などを学びました。

研修のメインである課題討議では、十班に分かれて、与えられた課題について延べ五時間討議し、それぞれの意見を発表しました。

私の班は、「サラリーマン化が進む中での効果的な活動方策」について討議しました。

研修参加者の七八％がサラリーマンであり、全国平均の七三％を上回る状況でした。

サラリーマン化が進むことの問題点、それは有事の際、人員の確保が困難になることです。

近年さまざまな職業・職種の団員が増え、夜間や土日の勤務などもあり、全団員が集まることは困難になっていきます。

なかでも最大の課題が職場の理解です。私は自営業なので、家族の理解もあり、有事の際に比較的すぐ駆け付けることができますが、サラリーマン団員は、仕事中には出来ない、

出勤しても欠勤扱いになるところが大多数でした。

消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律が成立して五年、この法律には事業者が従業員の入団や団活動への参加について配慮すること、消防団活動のために休暇を取得することで、不利益な取り扱いをしないことなどが規定されています。

裁判員制度は広く国民に知られていますが、先日、裁判員に選ばれた従業員に対する会社の協力は得られにくいというニュースを見ました。

これに比べ、地域を守る消防団への理解は得られやすいと思ひますが、法律や制度の中身はあまり知られていないのではないのでしょうか。

近年、多くの自治体で消防団協力事業所表示制度が採用され、団員を雇用している事業所への働きかけが行われています。

秋田市でも、公共事業の入札の際に協力事業所を優遇するなどの支援策を行つていますが、研修での一番人気は、法人税の減税でした。

これは会社にとって大きなメリットになりますが、岐阜県や静岡県など、まだ限られた地域でしか採用されていません。

法律や制度の趣旨を事業所に理解してもらうためには、消防団活動に協力することで事業所側にもメリットがあることをもつとアナウンスす

る必要があると思ひます。実際に現場に駆け付け、活動を経験することが、団員のやる気に直結します。

地域でも家庭でも、そして職場でも団員が現場に駆け付けやすい雰囲気をつくるのが、現代社会において消防団を効果的に運用するために求められている方策だと思ひます。

助けを求められたとき、全ての団員が当たり前現場に駆け付けられる消防団でありたい。

地域の安全・安心を守るため、消防団の充実・強化が必要です。

災害は必ずやつて来ます。「まさか」ではなく「多分」。

地域の防災、災害対策に貢献！

消 防  
ポンプ自動車  
小型ポンプ  
ホース

設 備  
火災報知器  
スプリンクラー  
消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10番9号 TEL 018 (863) 1551(代)  
猿田興業ビル3F FAX 018 (824) 3651

# 支部情報アラカルト

## 湯沢市雄勝郡総合防災訓練

を実施します

一〇月二五日(金)に湯沢市皆瀬地区を会場に、湯沢市雄勝郡総合防災訓練が実施されます。

今年、地域住民の自助・共助の高揚と防災能力の向上を重視し、今年結成された皆瀬地域の自主防災組織が、計画の段階から積極的に参加しています。

自主防災組織として、「自ら考え・楽しく・真剣に」を訓練テーマに、参加する住民自らが課題への対応策を考え、行動する内容となっております。

訓練想定の一つである避難訓練では、ただ歩くだけでなく、途中で妊婦・高齢者体験装具を装着したり、車椅子の方、複数の子供を連れて避難する親などに仮装して、要配慮者の気持ちを体験しながら避難します。



前回訓練風景

また、負傷者救助訓練では、普段どこにでもある日用品の中から応急処置や応急担架作成に適切だと思われるものを選び対処するという内容で、中にはハズレ用品もあり、ゲーム感覚で楽しく、実践に即した対処行動を訓練します。

この想定以外にも、中学生が地域住民と共に避難所を開設したりと、将来、地域防災の中核を担う中学生も訓練に参加します。

また、消防活動では、消防職団員が建物・林野火災防ぎよ訓練のほか、つり橋転落者救出・搬送訓練といった、峡谷観光で賑わう皆瀬ならではの訓練も行います。

へりも三機出動し、見応えのある訓練となる予定です。小安峡の紅葉狩りかたがた、ぜひ参観してみてください。



前回訓練風景

(情報提供) 湯沢市雄勝郡支部

### 火災の発生状況 (速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

	令和元年		平成30年			同期比較	
	9月	累計	9月	累計	年計	9月	累計
建 物	18	147	12	116	166	6	31
林 野	1	30	0	14	14	1	16
車 輛	1	18	4	31	39	- 3	-13
その他	4	88	1	59	72	3	29
合 計	24	283	17	220	291	7	63
死者数	0	13	0	12	18	0	1
負傷者数	5	54	6	34	46	- 1	20

モリタ消防ポンプ シパウラポンプ  
桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式  
各種消火器 消防機器一式

株式会社 能代消防センター  
株式会社 協 立

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57  
TEL (0185) (52)6494  
(52)6361

トーハツ消防ポンプ  
モリタ自動車ポンプ 総合防災設備センター  
消防被服全般  
秋田県代理店

株式会社 高 義 商 会

(営業種目) トーハツ小型動力ポンプ  
モリタ自動車ポンプ  
ジェットホース  
消防被服全般  
火災報知器各種  
消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32  
TEL(0183)(42)2125  
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

## 株式会社 タカギ

秋田県横手市寿町1番28号  
TEL (0182) (32)3880  
FAX (0182) (32)0839

### (営業種目)

日本機械自動車ポンプ | キンパイホース  
トーハツポンプ | シパウラポンプ  
各種消防機械器具 | 各種消火器  
消防設備保守点検

ホームページ <http://it-yokote.sakura.ne.jp/>  
E-mail [ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp](mailto:ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp)